

NTT グループ初、海外におけるスタートアップ協業推進プログラム ”NTT Startup Challenge”を開始

～東南アジアでのスタートアップ連携による新規事業創造をめざす～

発表のポイント:

- ◆ NTT グループ初となる、スタートアップ協業推進プログラム”NTT Startup Challenge”を開始
- ◆ NTT、NTT 東日本、NTT 西日本、NTT ドコモ・グローバル、NTT コミュニケーションズ、NTT データ、NTT ドコモ・ベンチャーズ、NTT ファイナンスによる共同開催
- ◆ プログラムの一環として、NTT グループとの協業に関心のあるスタートアップを東南アジア中から募り、2024 年 11 月 14 日にジャカルタにて NTT Startup Challenge Final Day として Pitch Contest・Matching Event 等を開催

日本電信電話株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：島田明、以下 NTT）は、NTT グループ初の共同開催となる、スタートアップ協業推進プログラム”NTT Startup Challenge”を開始します。プログラムの一環として、NTT グループとの協業に関心のあるスタートアップを東南アジア中から募り、2024 年 11 月 14 日にジャカルタにて NTT Startup Challenge Final Day として Pitch Contest を開催します。

本プログラムには、NTT グループから NTT 東日本、NTT 西日本、NTT ドコモ・グローバル、NTT コミュニケーションズ、NTT データ、NTT ドコモ・ベンチャーズ、NTT ファイナンスが参画します。また NTT グループ外からは、東南アジア著名ベンチャーキャピタルである KK Fund, GDP Venture や、早稲田大学 入山章栄教授が Keynote Speaker や Pitch Contest 審査員として本プログラムに参画します。

本プログラムを通じ、NTT グループは東南アジアをはじめとした海外スタートアップエコシステムとの協業を通じた新規事業創造に取り組んでいきます。

1. 背景

NTT グループは、社会課題解決を通じた新たな価値創造をめざしています。その実現に向け、社会課題をいち早く発見し解決にむけて取り組む多くのスタートアップと連携し、NTT グループのアセットを活用した協業を推進することで、様々な課題発見と迅速な課題解決を実現できると考えています。

特に、東南アジアは 11 か国で約 7 億人の人口を抱える^{*1} 巨大マーケットであり、その経済発展は著しいものの、多くの社会課題を抱え、その解決をめざす多くのスタートアップが生まれています。それに伴い、日本企業にとっての東南アジアは、製造業の生産拠点からイノベーション創出拠点へとその位置付けを変えつつあります。



このような中、NTT グループでは、NTT コミュニケーションズが 2017 年から 2020 年まで、東南アジアのスタートアップとの協業推進を目的とするプログラムである”NTT Com Startup Challenge”を実施し、累計 3,300 社のスタートアップに Pitch Contest や Matching Event へ参加いただき、新規事業創造を推進してきました。

昨今の東南アジアスタートアップエコシステムの更なる成熟と NTT グループ各社の東南アジアにおける旺盛な新規事業創造意欲をふまえ、協業推進プログラムを NTT グループ内に拡大し、NTT 初のグループ共同開催となるスタートアップ協業推進プログラム”NTT Startup Challenge”を開始します。

2. スタートアップ協業推進プログラム”NTT Startup Challenge”

(1)概要

海外スタートアップエコシステムとの新規事業創造を目的とした協業推進プログラム

(2)実施内容

2024 年 4 月以来、本プログラムの主催者である NTT グローバルビジネス部門を中心に、下記内容を実施。

- 東南アジア著名 VC との Advisory Program
- 東南アジア主要スタートアップイベントへの参画
- NTT Com Startup Challenge で培ったネットワークを活用したパートナー企業を通じたスタートアップ企業ソーシング
- NTT Startup Challenge Final Day (Pitch Contest ・ Matching Event) の開催

(3)各社の役割

NTT：プログラムの企画・運営

NTT グループ各社：自社の注力領域・提供アセットにもとづいたスタートアップとの協業・新規事業開発推進

3. NTT Startup Challenge Final Day

(1)概要

“NTT Startup Challenge Final Day”は、NTT グループとの協業に関心のある東南アジアスタートアップをターゲットとした Pitch Contest と Matching Event です。スタートアップのセクターや成長フェーズを敢えて限定せず、東南アジア全域から広く応募を募ります。約 400-500 社からの応募を見込み、Finalist 10 社が Pitch Contest にてプレゼンテーションを実施し、入賞企業には報奨金の他、NTT グループの各種アセット(CVC からの出資検討、ICT リソース、参加各社によるスタートアップソリューションの内部利用等)が提供されます。

(2)実施内容

対象社：NTT グループとの協業に関心のある東南アジアスタートアップ企業

ウェブサイト：<https://www.ntt-startupchallenge.com/>



Pitch Contest 日時：2024 年 11 月 14 日(木) 13:00 – 19:00 (インドネシア時間)

Pitch Contest 会場：SOEHANNA HALL (ジャカルタ、インドネシア)

一次審査員：NTT、NTT グループ各社

最終審査員：Kuan Hsu (General Partner of KK Fund)、早稲田大学 入山章栄教授、他

4. 今後の展開

本プログラム参画各社が、NTT Startup Challenge Final Day での入賞企業や Finalist との協業を通じた東南アジアにおける新規事業創造をめざします。また、日本展開に興味のあるスタートアップについては、本プログラム参加各社からの支援も検討します。

また今後は、本プログラムを東南アジアの他国やグローバルサウスまで拡大し、各種施策の実施等を検討していきます。

5. エンドースコメント

○Ricky Willianto, Co-founder of Ravenry (NTT Com Startup Challenge 2018 入賞社)

NTT Com Startup Challenge は、Ravenry 創業初期の段階で多くの扉を開く手助けをしてくださいました。NTT は、私たちが日本市場にアクセスするのを助け、洞察とビジネスマッチングの機会を提供してくれました。その結果、私たちは非常に迅速に、複数の日本企業を顧客として獲得することができ、また、貴重なコラボレーションやネットワーキングの機会を得ることが出来ました。私たちはこのプログラムの参加者であることを誇りに思うとともに、事業の成長とともに NTT との関係を継続していくことを楽しみにしています。

○Brendan Rakphongphairoj, CIO at Mekari (NTT Com Startup Challenge パートナー企業)

2017 年以来、Qontak(現 Mekari 社)は NTT グループのエコシステム、幅広いネットワーク、多くの顧客を活用することができました。NTT Com Startup Challenge では、NTT と共に 400 社以上のスタートアップとの協業推進検討を実施致しました。NTT の長年にわたる共同市場開拓支援に感謝すると共に、今後のさらなるコラボレーションを楽しみにしています。

※1 出典：IMF (International Monetary Fund), 2024

Population (Millions of people) in Southeast Asia: 685.75M

■本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

日本電信電話株式会社

グローバルビジネス部門

Email: global-incubation@ntt.com

広報部門

Email: ntt-pr@ntt.com